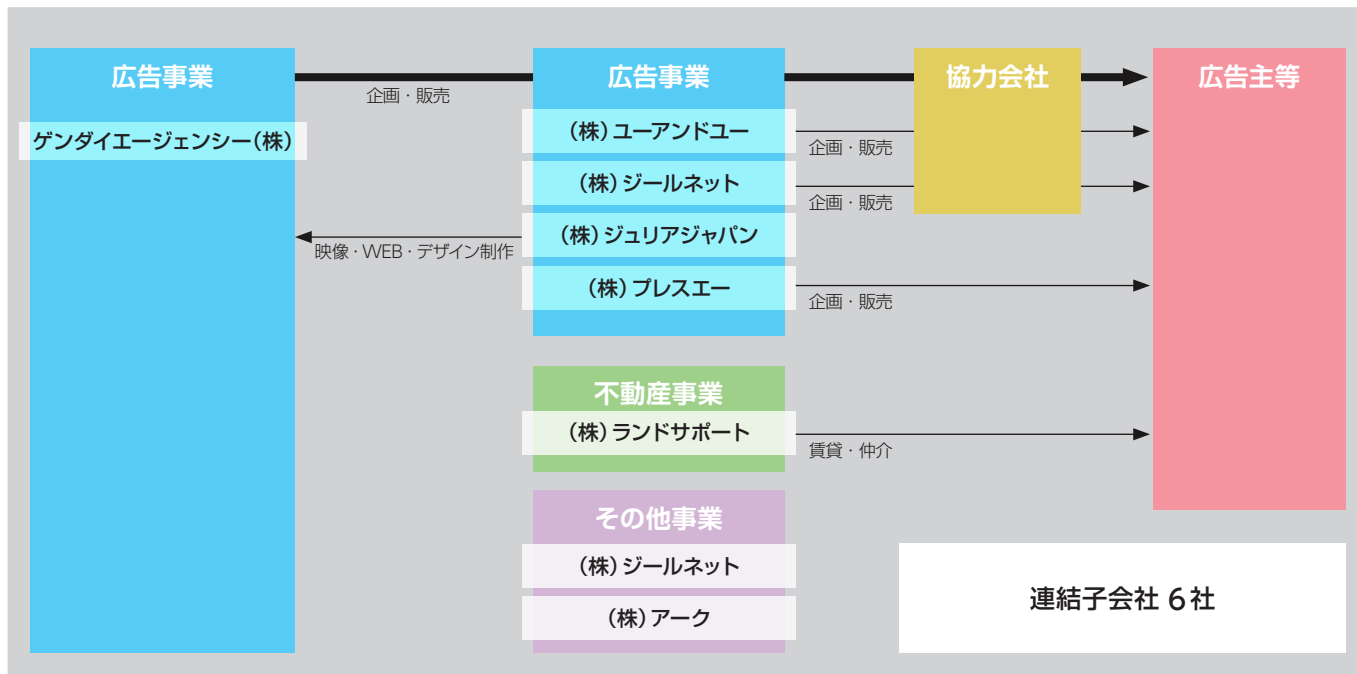


株主通信

2021年3月期

2020年4月1日～2021年3月31日

ゲンダイエージェンシー株式会社



1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー(株)

パチンコホールを主軸とした広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告等の企画制作

(株) プレスエー

フィットネス施設向け送客支援メディアの運営

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールをはじめとした不動産の賃貸、仲介

3. その他事業

(株) ジールネット

(株) アーク

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

グループ経営指針

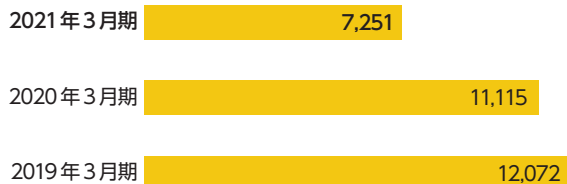
1. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略実現のパートナーとして、信頼される企業を目指します。
2. 私達は、広告事業の枠にとらわれない、新しいビジネスモデルやツールの開発に挑戦し続けます。
3. 私達は、常に真摯な姿勢と熱意をもって、最良なサービスの提供に努めます。



連結財務ハイライト

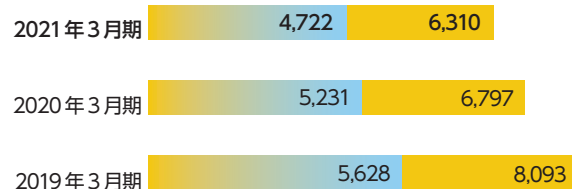
● 売上高

(単位：百万円)



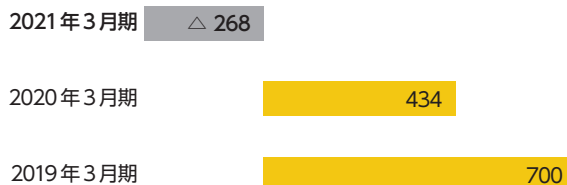
● 総資産額／純資産額

(単位：百万円)



● 経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



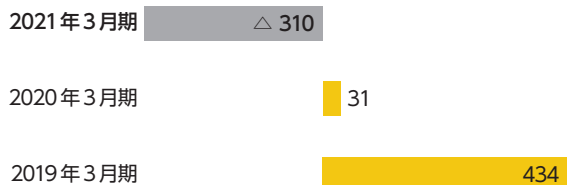
● 1株当たり純資産額

(単位：円)



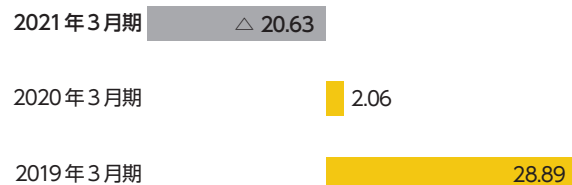
● 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)

(単位：百万円)



● 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)





株主の皆様へ



代表取締役 CEO 山本 正卓

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。ここに、2021年3月期連結会計年度のご報告を申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策等により、一時持ち直しの動きも見られたものの、直近では感染の再拡大が深刻化しており、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、感染拡大に伴い、2020年4月7日(当初7都府県、4月16日には全国に拡大)に発出された政府の緊急事態宣言に基づく各都道府県からの休業要請を受け、大多数のパチンコホールが休業する異例の事態となりました。この休業は、5月中旬から下旬にかけて、同宣言が区域別に段階的に解除されるまでの期間、継続してパチンコホール経営企業に多大な影響を与えることとなりました。さらに、感染拡大の影響を受け、同年3月より全国のパチンコホールにおいて、集客を目的とした広告宣伝が自粛され、それ以後の広告需要は著しく減少いたしました。6月に入ると都道府県単位で、広告宣伝が段階的に再開されることとなりました。また7月には、店舗施設における集客活動の正常化に向けた動き出しもあり、広告需要は回復基調に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、2021年1月に入ると再び政府より主要都府県に対して緊急事態宣言が発出されたことから、施設利用者の来店自粛や、施設側の広告自粛、抑制の影響を受け、広告需要は再び急減いたしました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、クライアント、さらにはその先の一般消費者のニーズの変化を捉え、コロナ禍において安全で安心の店舗施設利用を全面に打ち出した各種広告企画の立案と提案活動を進めてまいりました。また、パチンコホール広告以外の分野における新規顧客開拓活動に重点的に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は7,251百万円(前年同期比34.8%減)、営業損失は290百万円(前年同期は460百万円の利益)、経常損失は268百万円(前年同期は434百万円の利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は310百万円(前年同期は31百万円の利益)となりました。

以上の経営成績をふまえ、当期の配当金につきましては、コロナ禍における事業環境の著しい悪化に伴いキャッシュ・フローがマイナスで推移しており、手元資金の確保を優先する必要があるとの判断の結果、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

株主・投資家の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に向けて努めてまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月



2021年3月期の各事業概況

広告事業

当連結会計年度におけるパチンコホール広告市場は、期初より5月中旬から下旬にかけて、全国的な集客のための広告宣伝自粛により広告需要は激減いたしました。対外的な告知需要がほぼ皆無の状況下において、収益機会には感染防止対策等の店内告知物や、継続課金型のインターネットサービス等に限定されました。その後、2020年6月に入ると業界主要法人において広告活動が再開されたことから、広告需要は回復基調に転じたものの、下期に入ってから需要の戻りは、おおむね正常時の80%程度にとどまりました。また、パチンコホール以外の広告分野において現在、力を入れているフィットネス施設についても、感染症拡大の影響により広告需要は低調に推移いたしました。なお、2021年1月における緊急事態宣言の再発出に伴い、広告需要は再び急減したこともあり、通期を通して極めて厳しい事業環境にありました。

こうした環境下において、当社グループでは、パチンコホール向け広告分野においては、テレワークの環境下でも必要なサービスが安定的に供給できる体制を整備するとともに、クライアント広告活動の再開後においては、安全で安心の店舗施設利用を全面に打ち出した各種広告企画の立案と提案活動を進めてまいりました。また、広告のデジタル化がこれまで以上に速いスピードで進むとの認識のもと、動画広告サービスの拡販にも注力いたしました。さらに、この期間、パチンコホールやフィットネス施設の広告需要の急減を経験し、他分野における収益拡大が急務な中、主に首都圏以外における、その他業種の新規顧客開拓を推進いたしました。また、広告事業全体において、営業拠点の集約等を実施し、新しい働き方への対応と、間接コストの削減にも取り組んでまいりました。

その結果、売上高は7,187百万円(前年同期比34.2%減)、セグメント利益は18百万円(前年同期比97.9%減)となりました。

不動産事業

当連結会計年度においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益について、緊急事態宣言に伴う借主の休業により、賃料の一時減額を実施いたしました。また、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料収益10百万円の計上がありました。

その結果、売上高は57百万円(前年同期比52.3%減)、セグメント利益は15百万円(前年同期比77.1%減)となりました。

その他

当連結会計年度においては、連結子会社(株)ジールネットが運営するキャンピングカーレンタル事業において、コロナ禍におけるアウトドア娯楽需要の高まりを受け、受注が回復基調にあります。

その結果、売上高は7百万円(前年同期比88.8%減)、セグメント損失は10百万円(前年同期は154百万円の損失)となりました。なお、前年同期比の大幅な変動は、主として前連結会計年度末において、東南アジアにおけるカジノ運営受託事業を営んでいた子会社GDLH Pte. Ltd.の株式譲渡により、同社を連結の範囲から除外したことによるものであります。

中長期的な会社の経営戦略

グループの持続的な成長を実現するための戦略課題として、主に次の3点に取り組んでまいります。

1. パチンコホール広告以外の分野における市場開拓

- よりスピーディーに市場開拓を進め、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を実現

2. 集客施設におけるデジタルメディアの市場浸透

- 各種集客施設のユーザーにそれぞれ特化した自社開発メディアの充実
- 各種インターネット広告ツールを提供する外部パートナーとのアライアンスによる、クライアント向けサービスの開発や提供など
- これまで当社が得意としてきた、紙媒体広告とインターネット広告に加え、映像・動画等デジタルコンテンツの複合によるプロモーション戦略の最適化策を提供

3. 事業領域の拡大

- 当社グループの主力事業である広告事業の隣接分野(デジタルメディア、各種集客施設のエリアマーケティングなど)に関する調査研究を強化
- 他業界の有力企業との事業提携による、サービスラインの拡充も積極的に推進

目標とする経営指標、配当政策

目標とする経営指標

当社グループが重要視している経営指標と、その実績は以下のとおりです。当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による広告需要の急減により、実績は中期目標値を大幅に下回る結果となりました。

引き続き「生産性」、「付加価値」および「資本効率」を重視した経営を推進してまいります。

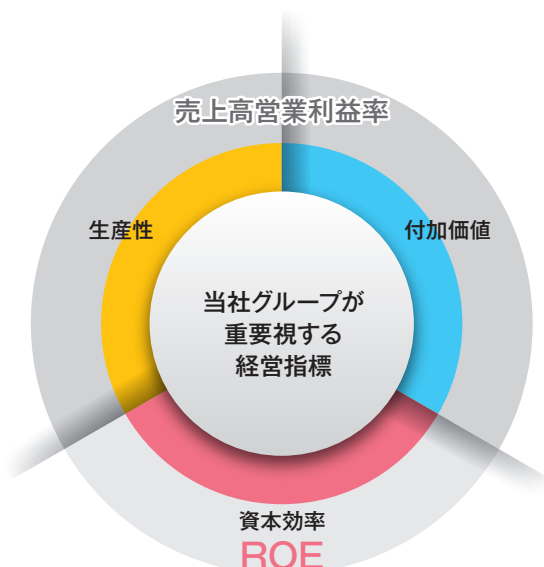
	目標値	2020 年 3 月期 (実績)	2021 年 3 月期 (実績)
売上高営業利益率 (生産性と付加価値の向上)	10.0%以上	4.1%	△ 4.0%
ROE (資本効率の向上)	10.0%以上	0.6%	△ 6.2%

配当政策と2021年3月期の配当について

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

2021年3月期の配当金につきましては、コロナ禍における事業環境の著しい悪化に伴いキャッシュ・フローがマイナスで推移しており、手元資金の確保を優先する必要があるとの判断の結果、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただきます。



2022年3月期の経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力の広告事業における主要顧客である全国のパチンコホール施設において、当期に急減した広告需要の回復は緩やかなものになると想定しております。また、目下、新たな顧客開拓と各種広告の拡販を進めているフィットネス施設をはじめとした集客施設においても、集客広告の需要回復には相応の時間を要すると想定しております。

なお、当期における業績変動の分析の結果、緊急事態宣言をはじめとする政府や業界団体等の新型コロナ感染症対策の諸施策が、業績に与えるインパクトが顕著であることが明らかとなりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の終息時期および、これに対応する政府等の諸施策の内容やその実施の有無についての予測は困難であります。

そうした厳しい環境を踏まえ、当社グループでは次の3点を対処すべき課題と認識し、取り組んでまいります。

① パチンコホール施設以外の広告分野における市場開拓と収益の多様化

- フィットネス検索サイト「FIT Search」を軸としたフィットネス業界広告分野における市場深耕
- 株式会社プレスエーが運営するフィットネス施設送客支援サイト「IDEAL」による送客支援サービスを発展させ、フィットネス分野以外の集客施設への送客支援に活用

② デジタル・アド分野における新サービス提供と従業員の教育

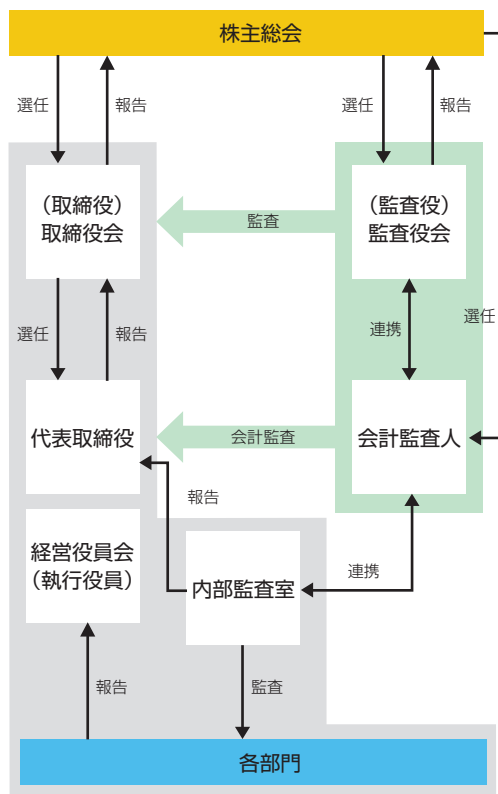
- 動画作成サービスの提供やこれまでのノウハウを活かした、新サービスの提供
- デジタル・アド分野におけるテクノロジーの進化に適応した広告サービス開発と、それを扱う従業員の教育に注力

③ 働き方改革の推進と人事制度の刷新

- 従業員の健康と事業継続の態勢確保および業務の効率化のため導入してきたテレワークのさらなる推進
- デジタルツールを使用した新しい営業スタイルへの転換
- 従業員の勤労意欲と生産性を高める人事制度の刷新



コーポレート・ガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性(コンプライアンス)と透明性(ディスクロージャー)を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。



ゲンダイエージェンシーのCSR

ゲンダイエージェンシーグループは、環境、社会的責任、コーポレート・ガバナンスに配慮し、持続可能な社会や経済の発展を目指した取り組みの実践に努めてまいります。

ゲンダイエージェンシーの価値

企業理念の実現



お客様

斬新かつ高品質な
サービスの提案

連結拠点数

27 拠点

ホール企業広告 お取引店舗シェア

10.9%

(2021年3月末現在)



株主・投資家

企業価値を高める
経営の実践

目標とする経営指標

ROE(資本効率の向上)の
中期的な目標値

10.0%以上

配当政策

当面の連結配当性向の目標

50%目安



従業員

公正な処遇と、働きやすい
職場環境づくりを推進

連結従業員数

256 名

(2021年3月末現在)

階層に応じた研修

有給休暇取得率

50%

(2021年3月末現在)*

*ゲンダイエージェンシー株式会社単体

安全衛生委員会の設置

次世代育成支援対策推進法に
基づく行動計画策定



環境・社会

事業活動を通じて
社会と地球の発展に貢献

エコカー導入促進

社用車保有台数の

81.1%

オフィス内のペーパーレスの徹底

クールビズの実践

法令を遵守し、健全で透明性の高い企業活動の実行

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

情報セキュリティ

リスク管理

企業理念

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

3つの経営指針

4つの行動規範

広告事業の収益構造の転換

広告業を基本軸に、パチンコホール分野とそれ以外の分野に向けて、インターネットを活用した様々なサービスを提供し、収益構造の転換に取り組んでいます。当期は、以下に取り組みました。

■ フィットネス情報サイト「IDEAL」を運営する株式会社プレスエーの全株式を取得

「FIT Search」「スイミング情報ネット」との相乗効果を期待し、フィットネス施設への送客支援を目的としたメディアのラインナップを強化します。

一般向け広告分野

全国フィットネス施設検索サイト
「FIT Search」

FIT Search

<https://fitsearch.jp/>



フィットネス情報サイト「IDEAL」

IDEAL

<https://cani.jp/>



スイミングクラブ検索サイト
「スイミング情報ネット」

スイミング情報ネット

<https://swimming-info.net/>



フィットネス業界特化型ウェブ広告
「Fitness Ad」



全業種向け広告分野

デザイン受託サイト
「アドラク!」



<https://adluckdesign.com/>



全業種向け Web 広告配信サービス
「Location Ad」(略称:ロケアド)

Location Ad
～ ロ ケ ア ド ～

動画制作サービス
「IMAGE FREAK(イメージフリーク)」



IMAGE FREAK
GOOD MOVIE!!

パチンコホール広告分野

■ インターネットメディア「パチア7」



<https://pachiseven.jp/>

パチンコホール向け DSP* 広告
「PachiAd(パチアド)」

Pachi Ad

※ DSP とは… Demand-Side Platform(デマンド・サイド・プラットフォーム)の略称。広告主側が使用する、広告配信ツールとその周辺のこと。



財務諸表

① 総資産 <

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金が243百万円、未収還付法人税等が139百万円、それぞれ減少したことなどにより前連結会計年度末(2020年3月期)と比較して486百万円減少の6,310百万円となりました。

② 負債合計 <

負債合計は、長期借入金(1年内返済予定を含む)が62百万円増加したことなどにより前連結会計年度末と比較して22百万円増加の1,588百万円となりました。なお、コロナ禍の状況における手元流動性の確保を目的として当第1四半期連結会計期間中において実行した短期借入金1,400百万円については、当第3四半期連結会計期間末までに全額返済しました。

③ 純資産合計 <

純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純損失310百万円を計上したことに加え、前期決算に係る利益配当195百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して509百万円減少の4,722百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当連結会計年度 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,269	5,145
現金及び預金	4,052	3,808
受取手形及び売掛金	980	973
有価証券	—	253
未収還付法人税等	153	13
その他	85	98
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	1,528	1,165
有形固定資産	630	599
無形固定資産	76	111
投資その他の資産	821	454
① 資産合計	6,797	6,310
負債の部		
流動負債	930	1,264
買掛金	489	501
1年内返済予定の長期借入金	200	575
未払法人税等	39	39
その他	202	148
固定負債	635	323
長期借入金	600	287
資産除去債務	8	8
その他	26	27
② 負債合計	1,565	1,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,062
利益剰余金	3,414	2,908
株主資本合計	5,228	4,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 4	0
その他の包括利益累計額合計	△ 4	0
非支配株主持分	7	—
③ 純資産合計	5,231	4,722
負債純資産合計	6,797	6,310

連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
4 売上高	11,115	7,251
売上原価	8,264	5,499
売上総利益	2,850	1,751
販売費及び一般管理費	2,390	2,042
営業利益又は営業損失 (△)	460	△ 290
営業外収益	14	30
営業外費用	40	8
4 経常利益又は経常損失 (△)	434	△ 268
特別利益	0	—
特別損失	307	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	127	△ 268
法人税、住民税及び事業税	104	44
法人税等調整額	51	△ 1
法人税等合計	155	43
当期純損失 (△)	△ 28	△ 311
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 59	△ 0
4 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	31	△ 310

4 売上高・経常損失・親会社株主に帰属する当期純損失

主要顧客であるパチンコホール業界では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休業要請や広告自粛などがその経営に多大な影響を与えることになりました。このような状況のもと当社グループでは、主力の広告事業において、クライアント、さらにはその先の一般消費者のニーズの変化を捉え、コロナ禍において安全で安心の店舗施設利用を全面に打ち出した各種広告企画の立案と提案活動をすすめてきました。その結果、当連結会計年度の売上高については前年同期と比較して34.8%減少の7,251百万円、経常損失は268百万円(前年同期は434百万円の利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は310百万円(前年同期は31百万円の利益)となりました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
当期純損失 (△)	△ 28	△ 311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	5
為替換算調整勘定	8	—
その他の包括利益合計	13	5
包括利益	△ 15	△ 306
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	42	△ 305
非支配株主に係る包括利益	△ 57	△ 0

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失268百万円を計上した一方で、法人税の還付額139百万円があったことなどにより114百万円の支出(前年同期は382百万円の収入)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に固定資産取得による支出38百万円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出58百万円があった一方で、投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円があったことなどにより、11百万円の収入(前年同期は97百万円の収入)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	382	△ 114
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	97	11
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 796	△ 140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 36	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 352	△ 243
現金及び現金同等物の期首残高	4,399	4,046
現金及び現金同等物の期末残高	4,046	3,802

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入による収入300百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出237百万円及び前連結会計年度決算に係る期末配当金の支払195百万円があったことなどにより、140百万円の支出(前年同期は796百万円の支出)となりました。



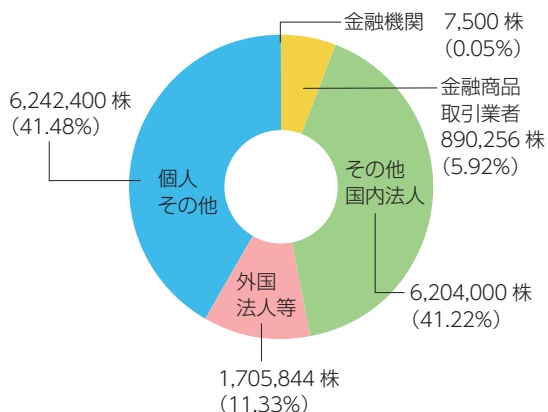
株式の状況

< 2021 年 3 月 31 日現在 >

株式の状況

発行済株式総数 15,050,000 株
株主数 6,480 人

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ株式会社	5,244,000	34.8
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	850,000	5.7
3 株式会社SBI証券	620,186	4.1
4 ジャパンプリント株式会社	480,000	3.2
5 梅田 美智子	359,400	2.4
6 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	350,000	2.3
7 山本 正卓	322,400	2.1
8 完山 敏錫	320,000	2.1
9 株式会社シルバークループ	120,000	0.8
9 株式会社読売IS	120,000	0.8



会社情報



会社概要

< 2021年3月31日現在 >

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル 29F TEL: 03-5308-9888 (代表)
設立	1995年4月
資本金	7億5,159万1,776円
発行済株式総数	15,050,000株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社 ●全国13営業拠点 (札幌、仙台、東京、宇都宮、埼玉、横浜、松本、 名古屋、静岡、大阪、広島、福岡、鹿児島)
連結子会社	(株) ランドサポート / (株) ユーアンドユー / (株) ジュリアジャパン / (株) ジールネット / (株) プレスエー / (株) アーク

役員一覧

< 2021年6月29日現在 >

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO	上川 名弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役 CIO	木藤 友治
取締役 営業企画開発部長	大島 克俊 (新任)
取締役(社外)	金本 かすみ
取締役(社外)	田坂 正樹 (新任)
常勤監査役	安達 吉明
監査役	東 徹
監査役	高野 健二
監査役	田中 公仁郎

IR情報は当社のウェブサイトでもご覧いただけます



<http://www.gendai-a.co.jp/>

ゲンダイエージェンシー株式会社

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月
基準日	定時株主総会 3 月 31 日 期末配当金 3 月 31 日 中間配当金 9 月 30 日
一単元の株式数	100 株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同事務拠点	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 0120-232-711
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第 29 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	(株) 東京証券取引所 JASDAQ 市場
公告方法	電子公告 ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載 URL <http://www.gendai-a.co.jp/>

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱 UFJ 信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱 UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱 UFJ 信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店でお支払いいたします。

